



EMERGENCY RESOLUTION ON MALI

マリに関する緊急決議

第29回国際公務労連（PSI）世界大会
2012年11月27日－30日、南アフリカ・ダーバン
以下の緊急決議を採択

民主主義と人権の尊重のみが人民の長期的発展の過程で価値を示してきたマリにおいて、今世紀になって力を掌握し不正を働いている集団によって、不可分の統一国家であるマリ北部が侵略されたことに留意し、

マリ北部の町で、武力侵略の被害者である非武装の住民が武力侵略に反抗しないよう威圧され、強要されていることに衝撃を受け、

こうした暴力が、たとえば婚姻せずに共に生活していることを理由に女性に石を投げるなど、社会の最弱者である女性と子供に集中していることを苦痛をもって目撃し、

土着の人々の同意なしに、しかも国防軍は全くの無力のままに、領土が分断され、独立が一方向的に宣言されてことに対して、嫌悪を抱き、

マリ北部の強奪と全体的状況は、あからさまな人権侵害であり、ILOのあらゆる基本的規則と権利ならびに世界人権宣言を無視するもので、私たちが代表する正義と連帯の実践者にとって容認し得ないものであると考え、

マリに平和と統一を取り戻すことを目指す国際社会とアフリカ連合によるあらゆる決定を支持する。

マリの全PSI加盟組合に対して、マリ北部を解放するためにマリ政府と国際社会がとるあらゆる行動に参加するよう強く促す。

この地域のあらゆる反体制派グループに対し、民主主義と人権尊重に基づいて、武器を捨て、交渉の席に戻るよう緊急に要請する。

以下のことを決議する。

1)

マリ北部に平和を取り戻すための調停を要求するすべてのマリの加盟組合にPSIが応じられるようにすること

2)

人民の発展と労働者の幸福をもたらす最優先課題として、PSIがマリにおける民主主義の実現に取り組む加盟組合を確実に支援するようにすること

行動プログラムおよび規約を含む大会決議 [Congress resolutions](#) を参照のこと